

## 成果の説明書

(氏名)土谷岳史	(学部)経済
<p>1 重要事項</p> <p>21 世紀政策研究所の研究プロジェクト「英国の EU 離脱と EU の将来展望研究会」の最終報告書『EU と新しい国際秩序—Brexit 後の EU、そして世界—』が 2021 年 3 月に発表された (<a href="http://www.21ppi.org/pdf/thesis/210304.pdf">http://www.21ppi.org/pdf/thesis/210304.pdf</a>)。本報告書の原稿は 2019 年度末までに書き上げていたものであるが、コロナ禍により 2020 年度中もさまざまな修正を迫られた。3 年間にわたる研究プロジェクトの成果であり、筆者は EU と英国の人の移動にかかわる状況についてまとめることができた。</p> <p>2021 年 1 月 29 日には 2020 年度 第 6 回 ORIS 国際シンポジウム『統合と移民のその後：欧米比較～新型コロナ禍による影響を踏まえて』に登壇し、「シェンゲン協定と Covid-19」と題して報告を行った。この報告の内容はあらためてまとめなおし、2021 年度中に論文として発表予定である。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>コロナ禍の遠隔講義では毎回課題を作成し、受講生の理解を深めることとした。数多くの受講生を抱えるなかで一定のフィードバックも行えたと考えている。ゼミでは遠隔で使えるようになったツールも駆使してゼミ生の能動的な発表も行えた。</p> <p>学会活動では遠隔の研究会を準備し、司会も務めた。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>上記シンポジウムで発表した内容を論文にすることが目標である。つぎに、2020 年度に研究会で発表した内容もまとめたいと考えている。</p>	